

総合整備計画書

岡山県苫田郡鏡野町 近衛 辺地
 (辺地の人口 194人 面積 12.3k㎡)

1 辺地の概要

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 中谷
 (2) 辺地の中心の位置 鏡野町中谷4394-1番地
 (3) 辺地度点数 114点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は旧鏡野町の西北部に位置し、急峻な山々に周囲を囲まれた地域であり、積雪も比較的多い。
 ・当地域は、積雪が多いため除雪機械を整備しているが、老朽化により更新時期に至っており、早急に除雪機械を整備することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。
 ・当地域は辺地地区のため、学校まで通学するには距離がある。定期バスも本数が限られており通学に利用するのは難しいため、スクールバスの整備が必要である。

平成30年度から令和9年度まで 10年間

(単位:千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源	一般財源	
除雪機械整備事業	鏡野町		35,034	12,000	23,034	23,000
スクールバス整備事業	鏡野町		4,300	0	4,300	4,300
合計			39,334	12,000	27,334	27,300

総合整備計画書

岡山県苫田郡鏡野町 香北 辺地
 (辺地の人口 253人 面積 32.1 k m²)

1 辺地の概要

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 大町、岩屋、越畑
 (2) 辺地の中心の位置 鏡野町大町625番地
 (3) 辺地度数 102点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は旧鏡野町の北部に位置し、急峻な山々に周囲を囲まれた、農林業を主産業とした集落の点在する地域であり、積雪も比較的多い。

- ・当地域は、積雪が多いため業者の借り上げ車により除雪対応していたが、老朽化により廃車予定となったため、早急に除雪機械を整備することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。
- ・林道美作北線は、地域間の連絡道路も兼ねており、林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を改良整備することにより、林道機能の向上を図る。
- ・林道ヒビラ線は、林産物の搬出等のため重要な役割を果たしている。林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を改良舗装整備することにより、林道機能の向上を図る。
- ・林道中林線は、林産物の搬出等のため重要な役割を果たしている。林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を改良舗装整備することにより、林道機能の向上を図る。
- ・林道中林1号線は、観光名所である中林の滝へのアクセス道として利用されるほか、林産物の搬出等のため重要な役割を果たしている。林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を改良整備することにより、林道機能の向上を図る。
- ・林道栗倉木屋原線は、地域間の連絡道路も兼ねており、林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を区画線整備することにより、安全性の向上を図る。
- ・観光名所である中林の滝は、泉山の山腹から湧きでる清水が一の滝、二の滝、三の滝、火の滝、中林の滝となって流れ、新緑と紅葉シーズンには、特に多くの観光客が訪れる。滝の周辺を整備することにより、より一層の観光客の集客と地域の活性化を図る。
- ・観光施設の越畑ふるさと村の古民家は、茅葺屋根であるが、老朽化しているため、屋根の葺き替え等整備を行うことにより、より一層の観光客の集客を図る。
- ・当地域は辺地地区のため、学校まで通学するには距離がある。定期バスも本数が限られており通学に利用するのは難しいため、スクールバスの整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和9年度まで 10年間

(単位:千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源	一般財源	
除雪機械整備事業	鏡野町		17,000	0	17,000	16,000
林道美作北線改良事業	鏡野町		165,350	49,600	115,750	115,000
林道ヒビラ線改良舗装事業	鏡野町		55,000	16,500	38,500	38,000
林道中林線改良舗装事業	鏡野町		31,500	9,400	22,100	22,000
林道中林1号線改良事業	鏡野町		16,104	4,500	11,604	11,600
林道栗倉木屋原線区画線整備事業	鏡野町		10,400	5,200	5,200	5,200
自然公園整備事業 (中林の滝周辺整備)	鏡野町		20,000	0	20,000	20,000
越畑ふるさと村整備事業	鏡野町		50,000	0	50,000	50,000
スクールバス整備事業	鏡野町		4,300	0	4,300	4,300
合計			369,654	85,200	284,454	282,100

総合整備計画書

岡山県苫田郡鏡野町 羽出 辺地
(辺地の人口 353人 面積 47.9 k m²)

1 辺地の概要

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 羽出、羽出西谷
(2) 辺地の中心の位置 鏡野町羽出693 - 2番地
(3) 辺地度点数 157点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は旧奥津町の中央部に位置し、中央を羽出川が流れ、その周辺に田畑が点在する山間の地域で、積雪もかなり多く、農林業のほか一部観光施設もある。

- ・当地域は、積雪が多いため除雪機械を整備しているが、老朽化により更新時期に至っており、早急に除雪機械を整備することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る
- ・林道若曾線は、地域間の連絡道路も兼ねており、林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を改良整備することにより、林道機能の向上を図る。
- ・町道二軒屋線二軒屋1号橋は老朽化しており、耐久性、耐荷力不足を招く恐れがあるため、橋梁の修繕を行うことにより、通行車両の安全を確保する。
- ・町道横尾線横尾橋は老朽化しており、耐久性、耐荷力不足を招く恐れがあるため、橋梁の修繕を行うことにより、通行車両の安全を確保する。
- ・当地区の飲用水供給施設は、施設築造後20年以上経過しており、経年により老朽化している。継続して安全で、良質な水を提供するため、施設の更新を行うことにより、地域住民の生活環境の向上を図る。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和9年度まで 10年間

(単位:千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源	一般財源	
除雪機械整備事業	鏡野町		49,000	8,000	41,000	41,000
林道若曾線改良事業	鏡野町		8,800	2,600	6,200	6,000
町道二軒屋線二軒屋1号橋修繕事業	鏡野町		25,000	15,000	10,000	10,000
町道横尾線横尾橋修繕事業	鏡野町		19,000	11,400	7,600	7,600
飲用水供給施設改良事業	鏡野町		60,000	30,000	30,000	30,000
合計			161,800	67,000	94,800	94,600

総合整備計画書

岡山県苫田郡鏡野町 奥津 辺地
(辺地の人口 521人 面積 40.7k㎡)

1 辺地の概要

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 奥津、奥津川西、長藤、下斎原
(2) 辺地の中心の位置 鏡野町奥津53番地の2
(3) 辺地度数 140点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は旧奥津町の北部に位置し、その中の「奥津温泉」は、美作三湯のひとつで日本観光百選にも選ばれている観光と農林業を中心とした地域であり、積雪も比較的多い。

- ・林道栗倉木屋原線は、地域間の連絡道路も兼ねており、林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を区画線整備することにより、安全性の向上を図る。
- ・町道山戸原線新橋は、老朽化しており、耐久性、耐荷力不足を招く恐れがあるため、橋梁の修繕を行うことにより、通行車両の安全を確保する。
- ・町道尾路線は、奥津温泉街と国道を結ぶ連絡道路であり、地域住民の生活道路及び観光道路として重要な路線であるが、幅員が狭く危険なため、改良舗装することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。
- ・町道井坂細田線水原橋は、老朽化しており、耐久性、耐荷力不足を招く恐れがあるため、橋梁の修繕を行うことにより、通行車両の安全を確保する。
- ・町道中川線久登里橋は、老朽化しており、耐久性、耐荷力不足を招く恐れがあるため、橋梁の修繕を行うことにより、通行車両の安全を確保する。
- ・当地域は、積雪が多いため雪寒機械を整備しているが、老朽化により更新時期に至っており、早急に雪寒機械を整備することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。
- ・道の駅奥津温泉は国道179号線沿線にある観光施設であり、町内外からの観光客が多く利用している。老朽化に伴い、施設・設備を整備することにより、観光客及び地域住民の利用の拡大を図る。
- ・観光温泉施設である「花美人の里」は、町内外からの観光客等が多く利用している。老朽化に伴い、施設・設備を整備することにより、観光客及び地域住民の利用の拡大を図る。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和9年度まで 10年間

(単位:千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源	一般財源	
林道栗倉木屋原線区画線整備事業	鏡野町		4,800	2,400	2,400	2,400
町道山戸原線新橋修繕事業	鏡野町		15,000	8,800	6,200	6,200
町道尾路線改良舗装事業	鏡野町		50,000	0	50,000	50,000
町道井坂細田線水原橋修繕事業	鏡野町		48,000	28,800	19,200	19,200
町道中川線久登里橋修繕事業	鏡野町		60,000	36,000	24,000	24,000
雪寒機械整備事業	鏡野町		14,494	9,662	4,832	4,000
道の駅奥津温泉物産館整備事業	鏡野町		15,000	0	15,000	15,000
花美人の里整備事業	鏡野町		15,000	0	15,000	15,000
合計			222,294	85,662	136,632	135,800

総合整備計画書

岡山県苫田郡鏡野町 上齋原 辺地
(辺地の人口 623人 面積 90.5 k m²)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 本村、石越、平作原、赤和瀬、中津河、小林、遠藤 |
| (2) 辺地の中心の位置 | 鏡野町上齋原512番地11 |
| (3) 辺地度数 | 166点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は鏡野町の北部に位置し、急峻な山々に周囲を囲まれた、農林業を主産業とし、スキー場、温泉などの観光施設も有する、集落の点在する地域であり、積雪も非常に多い。

- ・林道裏土地線は、地域間の連絡道路も兼ねており、林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を舗装整備することにより、林道機能の向上を図る。

- ・林道美作北2号線は、地域間の連絡道路も兼ねており、林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を改良整備することにより、林道機能の向上を図る。

- ・林道沢丹土線は林産物の搬出等のため重要な役割を果たしている。林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため既設林道を改良整備することにより、林道機能の向上を図る。

- ・林道蜷淵線は、地域間の連絡道路も兼ねており、林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を改良することにより、林道機能の向上を図る。

- ・町道木路線は、集落と国道を結ぶ連絡道路であり、地域住民の生活道路として重要な路線であるが、幅員が狭く危険なため、改良舗装することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。

- ・町道赤和瀬2号線は、地域住民の生活道路及び観光道路として重要な路線であるが、舗装路面のクラック等により通行に支障があるため、路盤等改良し舗装を行うことにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。

- ・町道遠藤2号線遠藤1号橋は、老朽化しており、耐久性、耐荷力不足を招く恐れがあるため、橋梁の修繕を行うことにより、通行車両の安全を確保する。

- ・町道豊ヶ谷遠藤線は、集落間及び公共施設を結ぶ連絡道路であり、地域住民の生活道路として重要な路線である。既設町道を舗装整備することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。

- ・農道裏土地線八木山橋は5年に一度実施している橋梁点検の結果でⅢ判定となったため、修繕を実施するもの。

- ・当地域は、積雪が非常に多いため雪寒機械を整備しているが、老朽化により更新時期に至っており、早急に雪寒機械を整備することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。

- ・当地域は、定期バスの運行が無く、高齢者及び障がい者等の交通手段を確保するため、町独自の福祉バスを整備しているが、老朽化により更新時期に至っていることと、現在整備しているバスを小型化することにより、きめ細やかな対応が可能となるため、早急に福祉バスを整備し、地域住民の安全・利便性の向上を図る。

- ・観光施設であるうたたねの里は、郷土資料館・飲食店・炭焼小屋・木地師の館・森の学校等の複合施設である。駐車場及び連絡道路を舗装することにより、観光客及び地域住民の利便性と安全確保を図る。

- ・観光施設である恩原オートキャンプ場は、鳥取県境に近い標高700m～1,000mの恩原高原にあり、地域住民の就業の場として地域の活性化に寄与している。当該施設の管理棟が老朽化しているため、管理棟の改築をおこなうことにより利用者の安全性・利便性の向上と、観光地としてのイメージアップを図る。

- ・観光施設である恩原スキー場は、鳥取県境に近い標高700m～1,000mの恩原高原にあり、地域住民の就業の場として地域の活性化に寄与している。ゲレンデを整備する圧雪車が老朽化しているため、更新整備することにより、ゲレンデ整備が充実し、利用者の安全・利便性が向上するとともにスキー場としてのイメージアップを図る。

- ・上齋原診療所において導入している心電図計は、健康診断等で病気の早期発見に役立っているが、購入から25年以上経過している。正確な診断を行い、安定した医療サービスを提供するために更新が必要である。

- ・上齋原歯科診療所において導入している口腔用バキュームシステムは購入後20年以上を経過し、使用頻度の高い機器であるため更新を必要とする。レントゲンについても購入後20年を経過し診断画像が不鮮明であるため、更新により正確な医療を提供したい。また、顕微鏡により精密な診察ができるマイクロスコープを新たに導入することで医療の充実を図りたい。

- ・当地域は辺地地区のため、学校まで通学するには距離がある。定期バスも運行が無い場合、スクールバスの整備が必要である。

総合整備計画書

岡山県苫田郡鏡野町 上齋原 辺地
 (辺地の人口 623人 面積 90.5 k m²)

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和9年度まで 10年間 (単位:千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源	一般財源	
林道裏土地線舗装事業	鏡野町		35,291	10,054	25,237	23,700
林道美作北2号線改良事業	鏡野町		7,000	2,100	4,900	4,000
林道沢丹土線改良事業	鏡野町		18,601	5,497	13,104	11,400
林道蜷淵線改良事業	鏡野町		2,266	530	1,736	1,700
町道木路線道路改良事業	鏡野町		40,000	0	40,000	40,000
町道赤和瀬2号線改良舗装事業	鏡野町		82,000	0	82,000	82,000
町道遠藤2号線遠藤1号橋修繕事業	鏡野町		19,000	11,400	7,600	7,600
町道豊ヶ谷遠藤線舗装事業	鏡野町		57,000	0	57,000	57,000
農道裏土地線八木山橋改修事業	鏡野町		10,000	5,500	4,500	4,000
除雪機械整備事業	鏡野町		224,000	5,000	219,000	219,000
福祉バス整備事業	鏡野町		4,000	0	4,000	4,000
うたたねの里整備事業	鏡野町		25,620	12,665	12,955	12,900
恩原高原オートキャンプ場整備事業	鏡野町		10,000	0	10,000	10,000
恩原高原スキー場整備事業	鏡野町		50,000	0	50,000	50,000
心電図計整備事業	鏡野町		1,500	700	800	800
口腔用バキュームシステム整備事業	鏡野町		1,708	0	1,708	1,700
マイクロスコープ整備事業	鏡野町		2,946	0	2,946	2,900
レントゲン整備事業	鏡野町		14,265	0	14,265	14,200
スクールバス整備事業	鏡野町		6,000	0	6,000	6,000
合計			611,197	53,446	557,751	552,900

総合整備計画書

岡山県苫田郡鏡野町 富 辺地
 (辺地の人口 628人 面積 76.1 k m²)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|-----------------|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 富西谷、富仲間、富東谷、大、楠 |
| (2) 辺地の中心の位置 | 鏡野町富西谷126番地の1 |
| (3) 辺地度点数 | 135点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は鏡野町の北西部に位置し、急峻な山々に周囲を囲まれた、農林水産業を主産業とした集落の点在する地域であり積雪も比較的多い。

・林道津のう谷線は、地域間の連絡道路も兼ねており、林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を改良整備することにより、林道機能の向上を図る。

・林道山口線は、地域間の連絡道路も兼ねており、林業の振興と農山村地域の環境の改善に資するため、既設林道を改良舗装整備することにより、林道機能の向上を図る。

・町道富東谷線は、集落と集落及び公共施設を結ぶ連絡道路であり、地域住民の生活道路として重要な路線であるが、幅員が狭く危険なため、改良舗装することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。

・町道篠坂余川線は、集落と集落及び公共施設を結ぶ連絡道路であり、地域住民の生活道路として重要な路線であるが、幅員が狭く危険なため、改良舗装することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。

・町道美ノ茅線は、集落と集落及び公共施設を結ぶ連絡道路であり、地域住民の生活道路として重要な路線であるが、幅員が狭く危険なため、改良舗装することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。

・町道国司谷線国司谷橋は、老朽化しており、耐久性、耐荷力不足を招く恐れがあるため、修繕を行うことにより、通行車両の安全を確保する。

・当地域は、積雪が多いため除雪機械を整備しているが、老朽化により更新時期に至っており、早急に除雪機械を整備することにより、通行車両の安全と住民生活の向上を図る。

・地場産業である「ひらめ種苗センター」は、町の特産物生産施設であり、地域住民の就業の場としても地域の活性化に寄与している。その施設の養殖池が老朽化しているため、整備・改修を行うことにより、安定的な地場産業の育成を図る。

・富農林水産物処理加工施設は、町の特産物の処理加工施設であり、地域住民の就業の場としても地域の活性化に寄与している。その施設が老朽化しているため、移設及び整備・改修を行うことにより、農林水産業の経営近代化を図る。

・観光名所である白賀溪谷は、新緑と紅葉シーズンには、特に多くの観光客が訪れる。溪谷周辺を観光開発することにより、より一層の観光客の増加と地域の活性化を図る。

・のとり原キャンプ場については、すでに森林保全活動の拠点機能、自然や環境についての啓発及び教育機能を果たしている。周辺整備を含めた施設整備をすることにより、より一層の利用者の増加と地域の活性化を図る。

・富診療所において導入している医師往診車及び訪問看護車は、どちらも購入して10年以上経過し、錆が生じた箇所もある。高齢化・過疎化が進み、通院が困難な在宅患者の往診や訪問看護を行うために医師往診車・訪問看護車が必要である。また、冬季は積雪があるため、4WDの装備が必要である。

・富歯科診療所において導入しているパノラマX線装置及び歯科ユニットチェア2台は、購入後20年以上経過している。特にユニットチェア1台は操作スイッチの故障とオイル漏れが生じ、年数経過により部品がなく修理もできずにいる。残りの1台についてもいつ不具合が起きるかわからない状況である。また、パノラマX線装置を更新することにより、鮮明な画像で病気の早期発見に役立てるため、安定した医療サービスの提供を期待できる。

・当地域は辺地地区のため、学校まで通学するには距離がある。定期バスも本数が限られており通学に利用するのは難しいため、スクールバスの整備が必要である。

総合整備計画書

岡山県苫田郡鏡野町 富 辺地
 (辺地の人口 628人 面積 76.1 k m²)

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和9年度まで 10年間 (単位:千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源	一般財源	
林道津のう谷線改良事業	鏡野町		29,123	7,352	21,771	19,700
林道山口線改良舗装事業	鏡野町		39,382	10,460	28,922	24,700
町道富東谷線改良舗装事業	鏡野町		30,000	0	30,000	30,000
町道篠坂余川線道路改良事業	鏡野町		87,000	0	87,000	87,000
町道美ノ茅線道路改良事業	鏡野町		15,000	0	15,000	15,000
町道国司谷線国司谷橋修繕事業	鏡野町		26,000	15,200	10,800	10,800
除雪機械整備事業	鏡野町		28,143	0	28,143	28,100
ひらめ種苗センター整備事業 2カ所	鏡野町		20,000	0	20,000	20,000
富農林水産物処理加工施設整備事業	鏡野町		95,934	0	95,934	88,700
白賀溪谷観光開発事業	鏡野町		10,000	0	10,000	10,000
のとり原キャンプ場整備事業	鏡野町		20,000	0	20,000	20,000
医師往診車整備事業	鏡野町		2,000	0	2,000	2,000
訪問看護車整備事業	鏡野町		1,800	0	1,800	1,800
パノラマX線装置整備事業	鏡野町		7,500	0	7,500	7,500
歯科ユニットチェア整備事業	鏡野町		11,400	0	11,400	11,400
スクールバス整備事業	鏡野町		6,000	0	6,000	6,000
合計			429,282	33,012	396,270	382,700